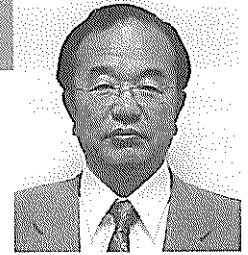


# こうしたら自治体病院の建設費は民間並みで出来る



東日本税理士法人代表社員 公認会計士 税理士  
長 隆

病院建設の事例でないが、一部事務組合(自治体)で老健施設(71床)の事例—プロポーザル方式(条件付)—を紹介する。

本来この方式は、「設計案」ではなく、設計を委託すべき「人(設計者)」を選ぶものであるが、設計業者のノウハウと経費の節減を目指し、若干の条件を付した。

その一部を列記すると、『①技術提案に当って設計の基本方針を提出 ②平面図、立面図、配置図の提出 ③建設工事概算見積書の提出 ④概算工事費を9億円以内に ⑤設計監理委託の見積の提出 ⑥参加1社当たり20万円支払』等である。

外部有識者も参加した審査委員会で、プロポーザル参加意志を表明した3社を個別にヒヤリングし、1社を選定。内部プロジェクトチームと細かい調整の上、設計図書等を作成。

10社指名、最低制限価格を設けず入札、民間並み建設費(1床当り1,000万円)で下記のとおり完成。全室個室の施設で国庫補助金と起債を財源とし、一部

事務組合は指定管理者制度を導入し、運営受託法人が償還財源を全額負担、結果、一部事務組合負担なしとなっている。

大手ゼネコン役員の話。「病院1床当りに1,500万円あれば上」、実態はまだ安くなっている。

千葉県病院局ホームページ・山武地域医療センター基本計画で試算すると1床当り公設民営で4,900万円、PFI方式で4,100万円となり、公設公営は建設費が割高となる恐れがあると記述している。

地方公営企業アドバイザー事業に関係しているが、実態は1床当り3,000万円程度～5,000万円となっており、その後の経営を圧迫する要因にもなっている。

建設費は自治体の関係者、特にトップの姿勢、考え方によって適正な価格(民間並み)になると言っても過言ではない。

## 〇老健 建設概要

工事概要	項目		金額(千円)	
	敷地面積	2,481㎡	建設工事費	(955,080)
駐車場	1,347㎡	設計監理費	713,249	落札率 0.723394
建物面積	3,520.36㎡	地質調査費	33,818	1床当工事費 10,046千円
71床	3F 1,314.48㎡	} 全室個室	事務費	1㎡当工事費 202,600円
	2F 1,314.48㎡			
	1F 841.18㎡	通所リハ	29名	1坪当工事費 668,600円
	PH 50.22㎡			
工期	平成16年2月～平成17年3月		合計	767,492
		国庫補助金	80,000	
		起債	687,400	
		一般財源	92	
		合計	767,492	